

2023年2月15日

関係各位

社会福祉法人 中心会
理事長 浦野 正男
相模原南児童ホーム
所長 曾我 幸央

相模原南児童ホームの
新型コロナウイルス感染事例について
(36の⑦)

既報(36、36の②……36の⑥)の続報をお知らせします。

13日(月)夜に検体(唾液)を採取した職員2名のPCR検査は、昨14日(火)に陰性が確認されました。

しかし、同じく13日(月)夜に発熱した児童(乳児)1名(以下、「児童L」といいます。)は、昨14日(火)に医師の診察及び検査を受け、陽性が確認されました。

これを受けて、児童Lとの接触があり感染伝播が懸念される職員2名、児童(乳児)2名、計4名に抗原定性検査を行ない、全4名の陰性を確認しました。

職員2名については続いてPCR検査の検体(唾液)を採取、検査機関へ持参し、2名いずれも陰性が確認されました。

児童(乳児)2名については検体(唾液)の採取が困難なためPCR検査は行ないませんが、昨14日(火)18時の時点で健康状態に特段の変調は見られません。抗原定性検査はPCR検査と比べて精度が劣るので楽観はできませんが、あらたな感染者の発生等、状況に特段の変化がなければ、以後のご報告を省略します。

なお、本件感染事例(36、36の②……36の⑥)と別報の感染事例(34、34の②……34の⑥)とは区域が遮断されていることから、相互の干渉はないものと考えられます。

皆様には度々ご心配をおかけして申し訳なく存じますが、今後も感染防止に最善を尽くしますので、ご理解、ご協力をお願いします。